

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2017
June
No.1064

6月

表紙

昨年の台風の影響で会場を
変更して開催された第59回
本別山溪つつじ祭り



Pick up

- ✿ 土砂災害に備えましょう
- ✿ 個性あるふるさとづくり寄付金運用状況
- ✿ 公共施設使用料の見直しについて
- ✿ 第59回本別山溪つつじ祭り

土砂災害に備えましょう

土砂災害警戒区域等の追加指定を受けました

本別町では、土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき、北海道から平成24年9月に14か所、平成27年3月に7か所が土砂災害警戒区域等の指定を受けておりますが、平成29年3月に、新たに26か所が追加指定を受けましたのでお知らせします。

大雨や台風による土砂災害は、毎年全国各地で発生し、私たちの暮らしと生命を脅かす存在となっています。地図に記した土砂災害警戒区域（イエローゾーン）および土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定地域は、急傾斜地の崩壊や土石流による災害の発生により、住民の皆さんの生命または身体に危険が生じる恐れのある区域となっています。

これらの土砂災害の恐れのある区域については、地域防災計画や防災マニュアルなどに、大雨時の警戒避難態勢に関する事項を定めるなど、今後も継続して防災体制の強化を図ってまいりますので、住民の皆さんも大雨や長雨が続くときには、「雨量・予報、警戒等」の情報を積極的に入手し、急傾斜地や溪流には近づかないようにしてください。

こんな前ぶれ現象に注意

- 山鳴りがする
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる
- 川の流れが濁り流木が混ざりはじめる
- 小石がバラバラ落ちてくる
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が吹き出す

土砂災害（特別）警戒区域一覧【平成29年追加分】

土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域

| No. | 指定箇所（溪流名） | 災害の種類 |
|-----|-----------|---------|
| ① | 美里別 | 急傾斜地の崩壊 |
| ② | 弥生町1 | 急傾斜地の崩壊 |
| ③ | 西美里別1 | 急傾斜地の崩壊 |
| ④ | 上仙美里2 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑤ | 東仙美里 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑥ | フラツナイ | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑦ | 上本別 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑧ | 朝日町3 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑨ | チエトイ4 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑩ | 上仙美里1 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑪ | 美里別東下 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑫ | 西美里別2 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑬ | 弥生町2 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑭ | 弥生町3 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑮ | 東町2 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑯ | 弥生町4 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑰ | 向陽町1 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑱ | 西美里別3 | 急傾斜地の崩壊 |
| ⑲ | 西久保牧場の沢川 | 土石流 |
| ⑳ | チエトイーの沢川 | 土石流 |
| ㉑ | 東本別二の沢川 | 土石流 |

土砂災害警戒区域のみ

| No. | 指定箇所（溪流名） | 災害の種類 |
|-----|-----------|-------|
| 1 | 押帯学校沢川 | 土石流 |
| 2 | 川上牧場の沢川 | 土石流 |
| 3 | 三沢の沢川 | 土石流 |
| 4 | 東本別三の沢川 | 土石流 |
| 5 | 東本別の沢川 | 土石流 |

※追加指定区域のみ地図に掲載していません。指定された正確な区域図をご覧ください。指定された区域図は、担当へお問い合わせください。



問い合わせ
住民課環境生活担当
☎ 22-8128

皆様からのご厚意 大切に使用させていただきます

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例
平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）
の運用状況をお知らせします

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例は、個性や魅力にあふれ、全国に発信できる「ふるさとづくり」を進めるための事業等に活用するべく平成18年度に創設され、制度運用から今年で11年が経過しました。

この間、趣旨や目的をご理解いただき、絶大なご支援を賜りました個人・団体の皆さまに対し心からお礼を申し上げます。

平成28年度に寄付を頂いた口数は74,622口、総額373万1千2百円で、これまでの累計は、口数は1万6,933口、総額846万7千2百円となっております。

平成28年度の運用実績といたしましては、『農産物加工体験施設整備事業』として、『農産加工室と乳製品加工室の備品購入費』に190万円、『本のまち・夢プラン事業』として、福島県在住の芥川賞作家が福聚寺住職である玄侘宗久氏を招いての『本のまち夢づくり講演会』と、中学生対象の『出前授業』を開催し35万円、合計225万円の寄付金を活用させていただきました。

平成29年度につきましては、『福祉でまちづくり事業』と『町長が必要と認める事業』として『保育料独自軽減事業』に250万円、『発達支援センター施設改修事業』に500万円、『本のまち・夢プラン事業』として、『本のまち夢づくり講演会』と小学生対象の『出前授業』開催の事業費に35万円、合計303万5千円の寄付金を活用させていただきました。

これからも、より良いまちづくりのために寄付金を有効に活用させていただきたいと考えておりますので『個性あるふるさとづくり』に多大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

| 分界別寄付数 平成28年度分（平成28年4月～平成29年3月） | | | |
|------------------------------------|-------|------------|---------|
| 寄付項目 | 寄付口数 | 寄付金額(円) | 項目比率(%) |
| 福祉でまちづくり推進事業 | 1,352 | 6,760,000 | 18.1 |
| 農産物加工体験施設整備事業 | 1,474 | 7,370,002 | 19.8 |
| 自然との共存・環境保全推進事業 | 1,196 | 5,980,000 | 16.0 |
| 資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業 | 28 | 140,000 | 0.4 |
| 本のまち・夢プラン事業 | 364 | 1,820,000 | 4.9 |
| 町長が必要と認める事業 | 3,048 | 15,240,000 | 40.8 |
| 合計 | 7,462 | 37,310,002 | 100.0 |

| 累計分（平成18年度～） | | | |
|-----------------------|--------|------------|---------|
| 寄付項目 | 寄付口数 | 寄付金額(円) | 項目比率(%) |
| 福祉でまちづくり推進事業 | 4,239 | 21,200,000 | 25.0 |
| 農産物加工体験施設整備事業 | 3,415 | 17,075,002 | 20.1 |
| 自然との共存・環境保全推進事業 | 2,939 | 14,695,000 | 17.4 |
| 資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業 | 791 | 3,955,000 | 4.7 |
| 本のまち・夢プラン事業 | 1,535 | 7,675,000 | 9.1 |
| 町長が必要と認める事業 | 4,014 | 20,070,000 | 23.7 |
| 合計 | 16,933 | 84,670,002 | 100.0 |

| 地域別寄付者数 平成28年度分（平成28年4月～平成29年3月） | | | | 累計分（平成18年度～） | | | |
|-------------------------------------|---------|----|----------|--------------|---------|----|----------|
| 寄付者のお住まい | 寄付者数(件) | | 地域別比率(%) | 寄付者のお住まい | 寄付者数(件) | | 地域別比率(%) |
| | うち団体 | 個人 | | | うち団体 | 個人 | |
| 本別町内 | 5 | 0 | 0.1 | 本別町内 | 104 | 16 | 2.5 |
| 道内他市町村 | 216 | 0 | 6.7 | 道内他市町村 | 299 | 2 | 7.2 |
| 道外他市町村 | 3,019 | 0 | 93.2 | 道外他市町村 | 3,748 | 9 | 90.3 |
| 合計 | 3,240 | 0 | 100.0 | 合計 | 4,151 | 27 | 100.0 |



「本のまち・夢づくり講演会」芥川賞作家玄侘宗久氏が風流について語りました



チーズ用熟成庫などゲンキッチンの設備が充実し、ものづくりの幅が広がりました

国民年金 コトナリ

知らない損をする
年金の増やし方

60歳からの任意加入

その182

国民年金は、20歳から60歳までの40年間保険料を納付することにより、満額の77万9300円（平成29年度）受け取ることが出来ます。従って、保険料の未納がある場合は、未納期間に応じて受け取る年金額が減額されます。

保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満たない場合や、老齢基礎年金の受給資格を満たしていない人は、受け取る年金額を増やしたり、年金の受給資格を得るために、60歳以降でも国民年金に任意加入することができます。



- 任意加入できる人
 - ・年金額を増やしたい人
 - 60歳～65歳まで
 - ・受給資格期間を満たしていない人
 - 65歳～70歳まで
- ※昭和40年4月1日以前に生まれた人が加入できます。

●手続き方法
年金手帳など基礎年金番号がわかるもの、預貯金通帳と通帳の届出印（任意加入期間中の保険料の納付方法は口座振替が原則となります）をお持ちになり、役場住民課戸籍年金担当窓口で手続きしてください。

●任意加入は申し出のあった月からの加入となり、さかのぼって加入することはできません。

●保険料について
国民年金保険料は第1号被保険者と同額です（平成29年度は月額1万6490円）

●増やし方
国民年金保険料に加えて、付加保険料（月4000円）を納めると、老齢基礎年金に付加年金を上乗せして受け取ることが出来ます。

※付加年金の年金額は2000円×付加保険料納付月数

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
6222-8128
日本年金機構のホームページは
<http://www.nenkin.go.jp>

本別町公共施設使用料の見直しを検討します

本別町では平成17年度に公共施設使用料について大幅な見直しを図り、施設等の利用者と未利用者における税負担の公平性を保つため、施設利用者に対応の使用料をいただいています。見直しから十余年が経過し、消費税率の改定や人口減少などさまざまな環境の変化の中で、現状に沿った見直しの必要性が問われています。

そこで、前回の使用料を算定した庁内会議(※1)や住民会議(※2)において、これまでの統一的な算定基準を基本に、時代に即した見直しを図りつつ、現状の維持管理費をもとに再算定を行い、「受益者負担と町民負担の公平性の確保を図るため、使用料の見直しを進めることとしました。

- ※1 本別町行政改革推進本部 (本部長・高橋正夫町長)
- ※2 本別町行政改革推進委員会 (会長・今野公司)

1. 見直しの趣旨

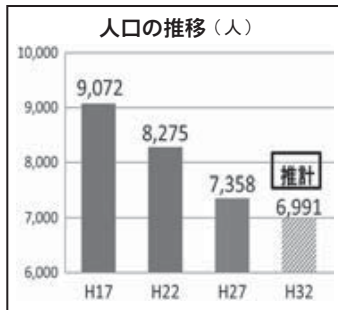
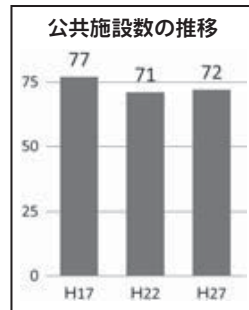
公共施設の使用料について、消費税の増税や物価の変化、施設維持管理費の増減に対応するため、すべての公共施設の使用料について見直しを実施します。

平成29年中に改定案をつくり、改定時期については消費増税時期だけにこだわらず、適切な時期に改定を行なえるよう検討していきます。

2. 見直しに至った背景

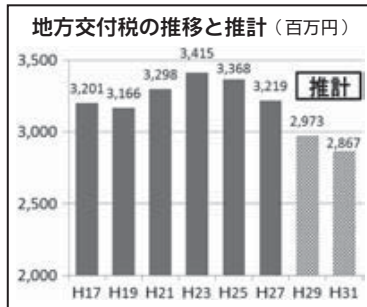
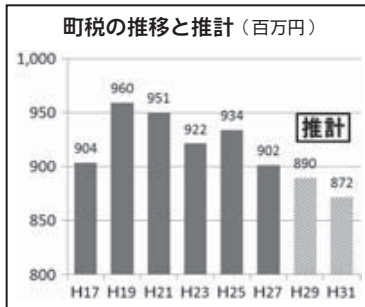
①人口と施設数の推移
平成17年より人口は約2割減少していますが、公共施設の数は大きく変わっていません。

このことから、今後は平成28年度に策定した「本別町公共施設等総合管理計画」に基づいて、公共施設の現状と将来の見通しを把握し、適正配置に向けた検討を進める必要があります。



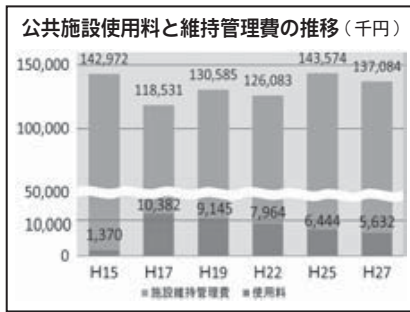
②収入の推移

施設の維持管理費に充てられる町税や地方交付税は減少傾向にあり、人口減少のため、収入は今後もさらに減少する見込みとなっています。



③施設使用料と維持管理費の推移

使用料を大幅に改定した平成17年度に、公共施設維持管理費の50%は利用者が負担すべき金額と定めましたが、激変緩和措置としておおむね10~20%の負担率を目標に料金を設定しました。当初はおおよそ目標の通り推移していたものの、後に人口や施設利用者の減少により、使用料は大きく減少しています。一方、維持管理費は施設の数が減っていないため、ほぼ同水準となっています。平成27年度は、維持管理費が約1億3千万円に対して、使用料は約6百万円と、負担の割合は約4%程度にとどまっています(御所、キャンプ場、ゴーカート、ボートは除く)。



3. 使用料見直しの方針

使用料の見直しにあたっては、次の3つの方針を柱に検討します。

(1) 受益者負担の原則

施設を利用する人としらない人の「負担の公平性」を確保するため、利用者を使用料を求めることを前提とします。

(2) 算定方法の明確化

利用者に適正で応分の負担を求め、また、利用しない町民にもわかりやすく説明できるよう、使用料の算定方法を明確にし、「透明性を確保」します。

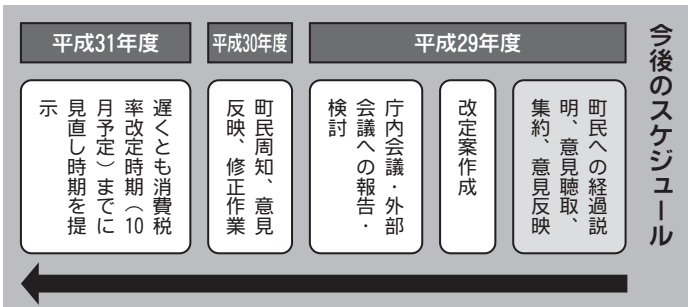
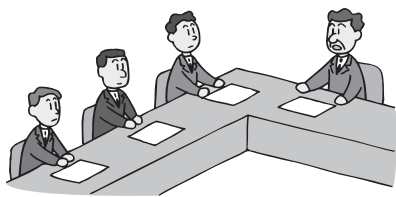
(3) 減免基準の見直し

現状、減額・免除区分が複雑化しているため、見直しにあたり、誰もが理解と納得をするわかりやすい制度にします。

誰もが理解と納得をする使用料等の設定を目指します。

4. 今後について

使用料の具体的な金額、減額・免除区分の内容については、役場庁内会議・住民会議の中で協議・検討を進めていきます。その中で、たたき台をつくり、町民の皆さんにお知らせし、「ご意見を頂きながら、改定案を深めていきたい」と思いますのでよろしくお願いたします。協議・検討の状況については広報等を利用してお知らせしていきます。



詳しくは
企画振興課行政改革担当
☎222-8121

第59回 本別山溪つつじ祭り



大人気のうなぎつかみ大会

あいさつする野田仁実行委員長

郷土芸能本別義経太鼓



多くの商品が当たったビンゴ大会

青空レディをモデルに写真撮影会

ものまね芸人 るみるみさん



本別産の味覚を楽しむ

本別産の食材が並ぶ

義経鍋に並ぶ家族連れ



春の野点を楽しみました

つつじの即売会

本別町と包括交流連携協定を結ぶ白糠町も特産品を販売



タイニーハウスで上質なレジャーを体験

子どもに人気のふわふわランド

アナウンサーになりきった体験ブース



第59回本別山溪つつじ祭り（実行委員会主催、野田仁実行委員長）が5月14日、本別公園静山第1キャンプ場で開催されました。今回は、昨年の台風の影響により本別公園ステージ前が使用できないため会場を変更。春先からの好天により、公園内のつつじやサクラの見ごろは終盤となったものの、町内外から約4,800人の来場者がありました。会場内では、本別の食材をふんだんに使ったつつじ祭り名物「ジャンボ義経鍋」が、800食完売となったほか、出店業者による「食のコーナー」も盛況。「うなぎつかみ大会」や子供たちに大人気の「ふわふわランド」、ステージでは、ものまねライブステージや郷土芸能、ゲーム大会など多彩な催しが展開され、来場者は春の楽しいひとときを過ごしました。



白糠町
からの
お知らせ

第21回 港in白糠大漁まつり

新鮮で旬な魚が格安で販売される白糠漁協の直売コーナーをはじめ、白糠の新鮮な海の幸や山の幸に加え盛りだくさんのイベントで皆さんをお迎えます。道東道を利用して、ぜひ白糠町まで遊びに来てください!!

とき 6月25日(日)
午前9時30分～午後3時

ところ 白糠漁港特設会場

主なイベント(予定)

海鮮そば、露店、遊覧航海、遊漁体験(釣船体験)、郷土芸能(白糠駒踊りほか)、吹奏楽の演奏、ふわふわランド、ビンゴゲーム、大漁祈願餅まき

問い合わせ 港in白糠大漁まつり実行委員会(白糠漁協内)
☎01547-2-2221



白糠漁協直売コーナー



大人気の遊覧航海

各学校の手作りページ

HELLO 農業大学校

北海道立 農業大学校を 紹介します!

平成29年度 入校式

4月6日、入校式が行われました。今年度は道内外から78人が入校し、多くの来賓や保護者の皆さんに祝福される中、新入生らは緊張した面持ちで農大生としての第一歩を踏み出しました。



畜産経営学科



畑作園芸経営学科



農業経営研究科

農大エピソード

入校式



入校生代表宣誓

農業機械高度利用研修初級



緊張した面持ちで説明を受けています

ソーセージ作り



本別山溪つじ祭りに向けて製造しています

実習風景

畜産経営基礎、ロープワーク



家畜飼養管理、牛の削蹄



畑作園芸経営、ビニールハウス内の整地



発売25周年の鍛高譚がラベルを一新

白糠の鍛高地区で無農薬栽培された赤シソを原料にしたしそ焼酎「鍛高譚」が、今年12月に発売25周年を迎えるのを機にラベルが一変、720ml瓶には1000本に1本の割合で金色のタンタカカレイが描かれている特製ラベルが用意されました。「金のタンタカ」に会えた方には幸運が訪れるかも…。

鍛高譚25周年記念パークゴルフ大会が開催されます

鍛高譚25周年記念第15回「鍛高譚杯」親善ごさんパークゴルフ大会が開催されます。大会終了後は25周年記念Tシャツや鍛高譚関連商品、白糠町の特産品などが当たる抽選会も行われますので、ぜひ参加してください。

とき 7月2日(日) **ところ** しらぬかパークゴルフインチャロ
参加料 1,500円/人(先着250人、中学生以上対象) **申込期限** 6月21日(水)
申し込み・問い合わせ しらぬかパークゴルフインチャロ ☎01547-9-3555

コイタの贈り物 ~ごぼう編~

道の駅しらぬか恋問「恋問館」のオリジナル商品「コイタの贈り物~ごぼう編~」は、白糠町産の柳タコとゴボウを使ったポン酢ドレッシングです。柳タコのだしとゴボウの甘みをさっぱりとしたポン酢で味わえることから、サラダはもちろん、刺身やギョーザ、焼肉などに合う万能ドレッシングとして昨年7月の発売開始以降じわじわと人気を集め、恋問館の人気商品となりました。白糠の海の幸と山の幸が凝縮されたドレッシングをぜひお試しください。

道の駅しらぬか恋問「恋問館」 ☎01547-5-3317

1年生にしおりをプレゼント 4 20・21

図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長）が4月20日と21日、町内3小学校を訪問し、新1年生を対象に手作りのしおりと人形のストラップをプレゼントしました。しおりは子供たちに本をたくさん読んでほしいとの思いから、平成15年より贈呈を続けているもの。また、登下校時の交通安全を願って2年前からお守りの人形も併せて作成しています。仙美里小学校（高瀬悟史校長）では同ぶっくる会員の小泉優子さんと加藤喜美子さんが1年生6人にプレゼントを手渡し、子供たちは笑顔で受け取りました。



火災予防を呼び掛ける 4 20

4月20日から30日の春の全道火災予防運動に合わせた防火パレードが運動初日の同20日、本別消防署前と町内で行われました。出発式では、砂原勝副町長が、町内の火災発生件数の増加にふれ、「これ以上火災が発生しないよう、より一層の啓発活動をお願いします」とあいさつ。続いて、本別消防団の第1分団団員ら31人と本別消防署員20人が消防車両9台に乗り、町危険物安全協会の車両10台とともに町内約5kmを走行して防火を呼び掛けました。



町民の提案を聞き取る 4 20・21・24

本別町議会（方川一郎議長）による第8回町民懇談会が4月20日、21日、24日の3日間、町内の6会場で行われました。21日のふれあい交流館には17人の住民が参加。議員から平成28年度の議会活動状況や議案等審議状況が報告されたほか、平成29年度予算や議会活性化の取り組みなどが説明されました。後半には、住民から「本別高校の存続について議論があるが、福祉学科の創設など特徴のある高校が望まれているのでは？」という提案がされるなど、活発な意見交換が行われました。



女性消防団が防火をPR 4 20

本別消防団（遠藤利之団長）の女性消防団員6人が4月20日、町内の2つのスーパーで防火を呼び掛けました。これは春の全道火災予防運動に伴い、予防普及活動の一環として行われたもの。団員らは、火災予防運動のタスキをかけて、買い物に訪れた人に火災予防啓発チラシと台所用品を手渡ししながら、「火の元には注意してください」とやさしい声で啓発を行いました。



教育委員会社会教育課スポーツ担当 主事補 **小田 海斗**

町体育館で主に少年団事業や体育行事などに携わっています。特技はサッカーは小学2年から続け、現在は本別のクラブに所属しています。筋トレも趣味なので、となたか体力増進センターと一緒に鍛えましょ！皆さんよろしくお願ひします。
音更町出身 18歳



総合ケアセンター障がい者福祉担当 主事補 **木村 麗**

福祉用具申請や各種手帳の手続きなどを担当しています。特技は小学生から続けているバレエボールで、本別でも協会に入っで頑張りたいです。趣味は音楽鑑賞や読書。地元である本別町で働くことができてうれしいです。精一杯頑張ります。
本別町出身 18歳



教育委員会管理課総務担当 主事 **伊藤 史郎**

本別町で生まれ育ち、8年ぶりにふるさとへ戻りました。大学卒業後、昨年1年間は、広尾中学校で英語の教科指導助手として教育に携わっていました。この職場では別の視点で教育に関われることが楽しみです。これから精一杯頑張ります。
本別町出身 23歳



子ども未来課子ども・子育て支援担当 主事 **井原有 美佳**

子育て支援や児童に関する給付、こども園など児童福祉施設関係を担当しています。大学で教育や心理学などを学んできましたので、仕事に生かしたいです。趣味は音楽鑑賞や野球観戦で、ライブが大好きです。よろしくお願ひいたします。
音更町出身 22歳



国民健康保険病院病棟担当 看護師 **寺井 初美**

一人の子供では独立し、夫と二人で暮らしています。少しでも早く勤務を覚えるように頑張りたいです。また、患者様が安心して安全に治療に専念できるように援助していきたいと思っています。これから頑張ります。
池田町出身 53歳



国民健康保険病院病棟担当 准看護師 **長内 絵理子**

このたびは准看護師の資格を取得し、初めての勤務となります。日々、学習を積み、少しでも町民の皆さんのお役に立てるよう、街にも仕事にも早く慣れて頑張っていきたいと思っています。これからも頑張ります。
本別町出身 38歳



国民健康保険病院理学療法士 **矢部 英人**

専門学校卒業後、帯広市の整形外科で勤務し、4月から地元の本別町に帰ってきました。日常生活に支障がある人の助けになれるよう頑張ります。将来はスポーツ支援や、転倒予防・腰痛予防の教室もしてみたいと思っています。
本別町出身 25歳

よろしくお願ひします！

本別町役場 新規採用職員紹介

今年度4月に新採用となった職員7人を紹介します。町民の皆さんのお役に立てるよう頑張ります。

たくさんのボランティアで町がきれいになりました

帯広信用金庫本別支店（梶谷徹也支店長）の職員6人と町内4郵便局・上浦幌郵便局（代表＝田中浩本別郵便局長）の12人が4月29日、町内2か所の雪捨て場で、5月9日には本別町議会議員会（会長＝林武副議長）の9人が、本別高校から町国保病院までの道道などでそれぞれごみ拾いを行いました。5月20日には、本別建設業協会二世会（三村智勝会長）の会員11人が町道愛のかけ橋通りで歩道の草取りや土砂溜まりの清掃を行い、多くのボランティアにより、町が大変きれいになりました。また、5月13日には、本別町観光協会による本別公園のエゾムラサキツツジ植栽・移植作業において、斉藤井出建設（斉藤和之社長）の社員4人が地域貢献活動として、穴掘りや運搬作業を行ったほか、5月16日には本別町商工会女性部（新津直子部長）の部員6人が本別公園内にツツジ30株を植え、景観整備に汗を流しました。



町観光協会・斉藤井出建設



帯広信用金庫本別支店



町商工会女性部



町内郵便局・上浦幌郵便局



建設業協会二世会



町議会議員会

クイズで交通安全を学ぶ

本別町交通安全母の会（田西喜代会長）が主催する「高齢者の交通安全勉強会」が5月12日、中央公民館で行われました。勉強会は今年で10回目の開催となり、参加した約80人は本別警察署の柏崎等地域交通係長の講話の後、7班に分かれてグループ討議を実施。各班からさまざまな意見が発表され、引き続き行われたクイズ大会では、参加者は二択問題を真剣な表情で回答しました。最後は交通安全体験会が行われ、酒酔い擬似体験や敏しように測定、タッチパネルでの交通安全クイズに挑戦しました。



事故を起こさない決意

平成29年度労働・交通安全大会（本別町建設工事安全連絡協議会主催）が4月21日、町体育館で開催されました。この大会は建設工事の本格化を前に、労働災害や交通安全の撲滅を図ることを目的として毎年実施され、町内の建設業や運送業に従事する34社から約110人が参加。同協議会の野田仁会長が、「事故を起こさないとする決意が大事」とあいさつし、帯広労働基準監督署の瀬戸神津太郎安全専門官と本別警察署の對馬大介地域交通課主任が講話を行いました。大会の最後には、本別建友会の三木哲会長が、「常に安全第一を心掛けます」と力強く決議文を宣誓しました。



百歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

井出モトさんが5月14日に100歳を迎えられ、同15日、高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。

モトさんは、本別町仙美里でお生まれになり、故勝人さんと農業を営みながら、5男1女のお子さんを育て、孫13人、ひ孫14人に恵まれました。平成25年12月からは本別町特別養護老人ホームに入所し、祝い金の贈呈時は町国保病院に入院されていました。モトさんが100歳を迎えられたことについて、二男の井出保雄さんは、「よく長生きしてくれた。本を読むことや、切り絵、ちぎり絵など手先を使うことが好きだったことが長生きの秘訣では」と喜びを語りました。



絵本とお話の魅力を楽しむ

親子で絵本やお話と触れあう「としよかんこどもまつり」が4月22日、図書館で開かれました。「こどもの読書週間」（4月22日～5月12日）のメインイベントとして今年で3回目の開催。午前の部「おはなしステージ」では、図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長）らによる英語を交えた絵本スクリーン、手作りカーテンシアターなどの多彩な読み聞かせと、本別プラスアンサンブル（佐々木公司代表）の会員3人による「3つの楽器でミニコンサート」が行われ、大勢の親子連れがお話の世界を見て聞いて、歌って、楽しみました。午後の部「はらべこあおむしはり絵ワークショップ」では、幼児と小学生が絵本「はらべこあおむし」のはり絵に挑戦。父母やぶっくるの会員からアドバイスを受けながら、カラフルな色紙を柔軟な発想で切り貼りし、個性豊かな作品を完成させました。



鬼退治にまく豆、一緒に作ろうぜ!

5 21

本別町商工会青年部（池田圭吾部長）と本別町農協青年部（若林健一部長）が主催する「まく豆作ろうぜプロジェクト」が5月21日、町内仙美里地区の畑で行われました。このイベントは、町内の小中学校などに参加を呼び掛け、来年の「ほんべつ豆まかナイト」で使う大豆の種まきを自分たちの手で行い、併せて大豆がどのように育ち、どのように収穫されるかを子供たちに体験してもらうことを目的として実施。現地の畑には「鬼退治専用大豆育成地」の看板が掛けられ、子供たちやその保護者、関係者など約100人の参加者が、同農協青年部の指導のもと、手作業による種まきを行いました。



札幌ドームで本別町の豚丼・黒まんをPR

5 19~21

5月19日から21日まで札幌ドームで開催された「第8回なまらうまいっしょグランプリ」に町と本別町観光協会が出品し、「黒豆味噌豚丼」と黒い豚まん「黒まん」で本別町をPRしました。これは、北海道日本ハムファイターズ応援大使事業の一環で、同応援大使がいる道内18市町村が出品。購入者が各市町村のグルメを食べ、お気に入りの一品に投票する方法でグランプリが争われ、本別町は優勝を逃したものの、いずれの商品も行列ができる人気ぶりを見せました。



鳥のさえずりを満喫

5 21

今年度第1回目のほんべつ学が5月21日、春のまなび「本別の野鳥を知らう〜春の巻〜」と題して、道東鳥類研究所主宰の千嶋淳さんを講師に迎え、森と川の舎（新津和一代表）の協力のもと、本別公園周辺の林で行われました。昨秋に続き、春の巻として開催されたこの観察会では、14人の参加者が耳を澄まして鳥の鳴き声を聞き分け、約20種の野鳥を確認。千嶋さんは「夏は木の葉が茂り、姿を見つけるのが難しい。鳴き声が観察のポイント。今日はウォッチングよりもリスニングを」と呼び掛けました。参加者は講師に質問したり鳥の情報をおぼしたりしながら、さわやかな新緑の中をゆっくりと散策し、野鳥を通して本別町の自然の多様性について学びました。



緻密な戦略で好プレー続出

5 18

第36回町長杯争奪高齢者ゲートボール大会（町主催）が5月18日、銀河アリーナで開催されました。大会には、町内7チーム30人が出場し、2ブロックに分かれたリーグ戦の後、決勝戦が行われ、選手らは声を掛け合いながら、緻密な戦略を練り出し、優勝を目指してチーム一丸となったプレーをしました。
優勝：カトリア、準優勝：バラ、3位：ファイB



交通ルールを守ろう

5 15

仙美里小学校（高瀬悟史校長、33人）が全校生徒を対象に5月15日、交通安全教室を同校グラウンドなどで実施しました。ヤマト運輸、本別警察署、交通安全指導員の協力のもと、児童らはトラックに乗り込み、大型車の死角による事故の危険性を確認。また、バトカーではシートベルトの着用方法を習ったほか、自転車の乗車訓練や横断歩道の歩行訓練などを行い、交通事故に遭わないための注意点を学びました。



地域で健康づくり

5 18

美里別上地区（5自治会）の在宅福祉ネットワーク介護予防教室「山ぶどうの会」（養喜喜美運営委員長）が5月18日、美里別地区公民館で行われました。今年度初めての事業となるこの日は、地域から30人が参加。社会福祉協議会職員の指導によりラジオ体操とガンバルーンで体をほぐした後、長野県諏訪中央病院の鎌田賞名誉院長が講話し、本別町が介護・看護の充実した地域となるよう進めている取り組みや、長野県を長寿のまちに変えた健康法について語りました。その後、参加者らは鎌田名誉院長とお茶を飲みながら交流を図りました。同会の今年度事業は来年3月まで同公民館等でミニレクリエーションなど全7回実施される予定です。



荒木謙作さんが旭日単光賞を受賞

5 17

元本別町議会議員の荒木謙作さんが旭日単光賞を受賞し5月17日、坂部浩明十勝総合振興局副局長らが南2丁目の自宅を訪問し、荒木さんへ勲記と勲章を伝達しました。荒木さんは平成2年8月に本別町議会議員に当選して以来、平成14年8月までに3期12年在職。平成10年から14年までは副議長の要職に就くなど、常に指導的立場で本町地方自治の育成発展に大きく貢献されました。荒木さんは受賞について「皆さんのおかげで受賞でき感謝しています。光栄です」と喜びの思いを語りました。



お詫び

本別町の元職員が、在職中における、地方税法に抵触する情報漏えい、および、これに起因する加重収賄の容疑において逮捕されたことは誠に遺憾であります。また、多くの皆さまにご心配、ご迷惑をお掛けし、特に町民の皆さまには、大変つらい思いをさせておりますことに、心よりお詫び申し上げます。この逮捕を厳粛に受け止め、あらためて全職員が襟を正して業務に邁進してまいり、また、警察および検察の捜査の推移を見守りながら、事実確認をしっかりと行い、今後の対応等につきまして検討してまいりますので、今後とも町民の皆さまのご指導をお願いいたします。

本別町長 高橋正夫

みんなの健康

394

アゴを動かしたときに耳の前あたりで「カクカク」音がする。そういう患者さんが増えています。「ジャリジャリ」「シミン」といった音の場合もあります。ものをかんだり、口を開け閉めする際に痛み、や音がする症状と、アゴを動かす筋肉に痛みや違和感のある障がいを総称して「顎関節症」と呼びます。

顎関節症



医療法人社団 賀陽歯科医院 院長 賀陽 真哉

去年のことですが、高校生の歯科検診をした際に「顎関節症」の人がなんと5人に1人くらい見うけられました。

「顎関節症」は色々な原因によって起る疾患で、精神的ストレス、疲労を蓄積させる生活習慣、かみ合わせの異常などがあげられますが直接的には、歯ぎしりや食いしばりによる影響が最も大きいと考えられます。

歯ぎしりや食いしばりの癖がある

ると、そしてく筋（口を開け閉めする筋肉）に疲労が蓄積されると同時に、顎関節にも過剰な負担がかかり、結果的にそしゃく筋や顎関節の痛みを伴うアゴの機能障害（音がする・口が開かない・硬いものが噛めないなど）に至ると考えられます。また、全身的症状もあり、肩こり・腰痛・頭痛・めまい・生体痛などの症状に悩む場合もあります。

20・40代の女性に多いといわれていますが、最近では若年者の患者が増加しています。顎関節症患者の80・90%は非外科的治療（そしゃく筋のマッサージやストレッチ・マウスピースによる治療・薬物療法など）により症状は改善します。かみ合わせが悪いからといって、歯を削ったり、冠を被せて調整するなどの非可逆的治療は原則として避けるべきです。このような症状のある方は早めに歯科を受診することをお勧めします。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのために日々の愛を注ぎながら育ちます。



新町 戸田 和馬 (むねま)



拓農 大川 莉奈 (りな)



南4丁目 岡崎 慶伸 (けいしん)



北4丁目 本寺 奏斗 (そうと)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

平和勝次 歌謡&トーク チャリティーショーを開催します



平和勝次

宗右衛門町ブルースでお馴染みの平和勝次さんを迎え、歌謡&トークチャリティーショーを開催します。友情出演として、平島賢治さんやKIMIKOさん、地元歌仲間も多数出演しますので、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

- ▶とき 6月13日(火)
 - 昼の部 開場 午後1時 開演 午後1時30分
 - 夜の部 開場 午後5時30分 開演 午後6時
- ▶ところ 中央公民館 大ホール
- ▶入場料 無料
- ▶問い合わせ 北4丁目 富田和義さん ☎22-3092

お詫び

広報ほんべつ2017年5月号(No.1063)8~10ページの「本別町の介護現場で働いてみませんか?」の記事の中で、掲載者のお名前に誤りがありました。次の通り訂正し、深くお詫びいたします。

誤: 門馬朱里さん
正: 門馬朱理さん

ご寄付ありがとうございます

平成29年4月16日から5月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町公共施設等整備基金
 - 金 1,586円 匿名
- ★老人ホーム指定
 - 長いも 15kg 帯広市 足助博郁
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
 - 計 金 12,010,000円 156人

銀河ホップアラスタンス

足寄町

第20回 ラワンがき狩り

北海道遺産で足寄町特産品のラワン(ぶきを自分の手で刈り取りしてみませんか。)



口とき 6月25日(日) 午前8時30分~正午

口ところ 鳥羽農場

※JAあしふる直売所「寄って美菜」前に案内所を設置しています

口持ち物 鎌または包丁等

口価格 大袋 3,600円(約25kg) 中袋 2,600円(約17kg) 産課 ☎25-15178

陸別町

「銀河の森天文台」 プラネタリウム 上映情報



銀河の森天文台(陸別町ウエンパシ)は、毎週土・日曜日限定でプラネタリウムを上映します。望遠鏡による星空観察と併せて、ぜひご覧ください。来場をお待ちしております。

口番組名 「オーロラ生命の輝き」

口上映時間 ①午後3時、②午後5時、③午後8時(各回約30分)

口定員 1回あたり20人(当日先着順)

口開館時間 午後2時~午後10時30分(月・火曜日は休館日)

口入館料 《昼間》大人300円、小人200円 《夜間》大人500円、小人300円 ※小人は小・中学生、小学生未満は無料 ※お得なバスポートは大人1000円、小人600円(発行日より1年有効)

口問い合わせ 銀河の森天文台 ☎27-18100

本のある暮らし 195

戸籍のまど

お誕生

4月後半から
5月前半の
届出分

藤井 紫^{ゆかり} 寛^{ひろ} 美穂^{みほ} 4/27 北穂自治会

ご結婚

(秋元 雅之^{のぶゆき} 柏木町
大和田 千晴^{ちひろ} 南2丁目

おくやみ

- 松岡八重子^{やえこ} 72歳 4/13 北8丁目
- 川上知子^{ちこ} 71歳 4/22 押 帯
- 森山富夫^{とみお} 72歳 4/22 南4丁目
- 中北秋雄^{あきお} 89歳 4/28 向陽町
- 野中栄一^{えいいち} 87歳 5/1 チエトイ1
- 前田 勇^{ゆう} 83歳 5/5 向陽町
- 古山隆一^{たかひさ} 60歳 5/10 東 町
- 斎 トキ卫^{とけゑ} 92歳 5/13 東本別

支え合いの看取り

～「旅立ち」は
ふるさとで わが家で～

「福祉でまちづくり」を進める本別町では、高齢者が、住み慣れたこのまちで、安心して暮らせるためのさまざまな事業に取り組んでいます。

そこで、人生終わりの時間を地域や家庭で迎えること、それを次の世代に伝えることの大切さを、分かりやすく教えてくれる新しい本の紹介です。



写真絵本シリーズ (全12巻) いのちつぐ 「みとりびと」

写真・文 / 國 森 康 弘

看取りとは、大切な人が息を引き取るその「旅立ち」のとき、そばに寄り添い、感謝と別れを交わすこと。そしていのちのバトンを受け取り手渡すこと。

肉親の死と向き合う小学生、母の死をきっかけにホームホスピスを立ち上げた女性、その利用者、在宅ケアを受けながら最期を迎えたおばあちゃん…。看取り、看取られる人々の姿が、ジャーナリストの臨場感あふれる写真と穏やかな文で描かれています。

ふるさとで迎える「旅立ち」を本別町はサポートしています

わたしたちのまち

前月比
人 口 7,356人(+109)
男 3,621人(+84)
女 3,735人(+25)
世帯数 3,739戸(+97)
〔4月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112